

# 建設長崎

December No.558

2011年12月15日  
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます  
印刷 (株)昭和堂 TEL 095 821 1234

発行 長崎県建設産業労働組合 〒852 8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095 862 7121 FAX 095 862 5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者 北村政和 編集人 若杉孝雄

## 【年末年始のお知らせ】

仕事納め 12月29日(木)  
仕事初め 1月5日(木)  
年末の事務処理は12月28日(水)まで  
新年の通常業務は1月6日(金)より

## 仕事と暮らしの改善を

1/11

### 県土木部長に要請



去る十一月十一日、午前十一時より、県庁五階A会議室において、「中小零細建設事業者・職人の仕事と暮らしの改善に関する要請」を、建設長崎・中小建設業協会へ、県へ要請。県側は、村井土木部部長他五名の次課長が出席、組合側は金子協会長、相川委員長他二十名の協会役員、組合役員が出席。冒頭、金子協会長より部長へ要請書を手渡し、要請

事項に沿って発言答弁を求めました。  
主な発言要旨は次の通り。  
①震災の住宅復興は地場建設業者が大事と認識  
②小規模改修事業で十一月四億円計上、当初の二、五億円と併せ受注機会の拡大を図っている。  
③分離は貴、襖など、可能な限り取り組んで行く。  
④建設業者の資質の向上と契約の適正化、基幹技能者採用には経営事項審査上や総合評価方式で優遇措置を設けている。  
⑤下請け代金未払いの業者

を要請事項  
(1)中小零細建設事業者への工事発注に関する要請  
①工事発注時の分離・分割発注への配慮  
②設計労務単価引き上げへの配慮  
③発注時における適正単価の支払指導  
(2)住宅リフォーム事業助成等の要請  
①住宅リフォーム事業助成制度の創設について  
は入札参加を排除、元下は調査を行っている。二五〇万円以上の工事は、内訳書の提出義務化等で、適正化を図っている。  
②住宅リフォーム事業助成は、基本的に耐震、バリアフリー等施策目的があるものを実施、佐賀県での実施

は、効果について研究して行く、との事でした。また、設計労務単価はきちんと支払われているか、県の入札運用時間の延長についてはきちんと支払われている事、時間の拡大は来年から行う予定と答弁がなされました。

十一月十一日(金)午後二時より、佐世保市役所にて、佐世保官公需業者会役員西野会長他五名、組合から相川委員長他一名、速見・早稲田・永田・古家佐世保市議員の十二名で佐世保市長に要請書を提出し、仕事確保要請。市側は、副市長他十数名が対応。回答として、東日本震災の影響による補助金減少から公共工事を一割カット



しているし、市財政も、今後十年間で赤字見込みで大変厳しい状況だが、要望については出来る範囲で考慮する。リフォーム助成制度は、予想を上回る速さで予算が無くなったので、議会に予算の増額を提案。来年度以降も、検討していきたい。指名願い提出時の技術者数の問題は、状況によって色々な事情があるので、個別に判断していきたい。との回答でした。



全建総連11・22中央決起大会 日比谷公園

十一月二十日、平成二十四年度の予算要求実現のため、東京の日比谷公園大音楽堂に全国から四十九県連、五、一〇四名の仲間が集結。建設長崎からも北村副委員長、船津副委員長、佐藤 保事務局長、田中支部長、山本支部長の五名参加した。大会には激励のため六政党(民主・自民・公明・共産・社民・みんなの党)からも出席。各党代表者は、東日本震災での全建総連の復興支援の団結力に敬意を表し、「建設関係のため全力で取り組み全面的に支援する。」と挨拶。全建総連古市書記長の基調報告の後、「東日本震災の復興財源

を巡り議論されているが、建設関係の補助金への切り込みを許すわけにはいかない。建設関係を守るため全力で取り組む」ことが大会決議案として採択された。これからの予算要求の取り組みとして、仲間の皆さんによる予算要求八ガキの集中投函が十一月二十四日

大会当日、私達は地元選出の国会議員に対して建設関係の育成強化と国保組合への国庫補助の現行水準確保に向けての支援をお願いしてきました。  
要請先は次の通り。  
(衆議院議員) 高木義明氏(秘書)  
(参議院議員) 福田衣里子氏(秘書) 山田正彦氏(秘書) 宮島大典氏(秘書) 川越孝洋氏(秘書) 谷川弥一氏(秘書) 北村誠吾氏(秘書) (参議院議員) 大久保潔重氏(本人) 金子原二郎氏(秘書)

から全国一斉に始まる。そして、十二月七日には全国の仲間とともに各重要請行動を中心とした予算要求中央行動が予定されている。

②受注機会の拡大として小規模改修事業で切れ目なく受注。十一月補正で上積み要請しました。

大村市長 要請行動 11/22  
大村市長に対する仕事確保要請行動を十一月二十二日午後一時から大村市役所の第二応接室で行いました。金子会長、相川委員長、伊藤支部長はじめ、十名の参加者で、大村市長からは松本市長都市整備部長、建設住宅課長の三名が出席する中、中小零細建設業者に対する発注要請と若年技能者育成のための施策、住宅リフォーム事業助成制度創設について要請を行いました。住宅リフォーム事業助成を始め、十二月議会の中で前向きに検討することを約束する内容の話がなされました。

## 建設不況打開・生活危機突破 予算要求実現に向けて

11/22



県北振興局長 要請行動 11/15  
去る十一月十五日午前十時五十分から約四十五分間、県北振興局特別会議室において、小島局長他七名の部課長が出席し、我が方から相川委員長、西野官公需業者会長、大島協会副会長他十一名に、吉村県議も同席。主な発言要旨は次の通り  
①中小建設業の厳しさは理解している。  
②受注機会の拡大として小規模改修事業で切れ目なく受注。十一月補正で上積み要請しました。

③若年・技術技能労働者は不足、職業訓練と連動し、効果のある方法を目指す。  
④下請け工事代金未払いの業者は、入札参加を排除しているし、元下関係も調査している。  
⑤住宅リフォーム事業助成は耐震、バリアフリー等成果あるものを実施している。後、耐震助成の利用は少ない、県で上積みできたなら経済効果で一層の活性化ができるので上申を、技術力と実績を作りたので発注機会を増やして欲しい。と要請しました。

しているし、市財政も、今後十年間で赤字見込みで大変厳しい状況だが、要望については出来る範囲で考慮する。リフォーム助成制度は、予想を上回る速さで予算が無くなったので、議会に予算の増額を提案。来年度以降も、検討していきたい。指名願い提出時の技術者数の問題は、状況によって色々な事情があるので、個別に判断していきたい。との回答でした。



### 諫早支部旅行

熱心に・懐かしく・興味深く見学

快晴に恵まれた十一月十日、一泊二日の旅程で少

し遅めの支部旅行を三十名の参加で行いました。初日は冷水



道路を通り飯塚にある筑豊の炭鉱王・旧伊藤伝右衛門邸宅と嘉穂劇場の見学を行いました。伊藤邸では広大な敷地に建てられた豪華な庭や手の凝った造り、建材、そして蔵に展示された炭鉱

### 大村支部レクリエーション大会

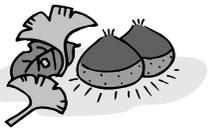
始球式で見事なホールインワン

十一月六日(日)にグラウンドゴルフ大会を予定していたところ、朝からあいにくの雨となり、競技を中止とすることにしました。

しかし、この日のために用意されていた主婦会の「豚汁」は、前日から材料の仕込みもされ、当日の朝早くから大鍋に火が入りいい匂いをさせています。

九時開会に合わせて支部事務所集合して、急遽豚汁を囲んでの交流会を行いました。室内ではありますが、ホールポストを設置し、ホールインワン賞争奪大会の開催です。伊藤支部長、相川委員長の挨拶のあと、始球式では、

(井関)



### 浦上東支部旅行

焼酎と自然の空気を満喫

十一月十二日(十三日)に数十年前ぶりとなる一泊旅行

は一泊旅行を計画し実現することが出来ました。参加者は十五名と少人数



以前から「たまには旅行でもしたいね」との声が上がっていて、昨年は日帰り旅行を開催し、この次こそ霧島温泉をめざし高速道路を南下、願成寺・青井神社を見学した後、焼酎工場を見学しました。焼酎工場では、テンプルの上に焼酎瓶が数本並んでいて、各々自由で試飲し、度数の高い焼酎や飲みやすい焼酎試飲を

(大賀)

### 大浦支部旅行

組合仲間の温かさを実感



去る十一月五日(六日)支部の組合員、家族の皆様と親睦旅行に一緒にさせて頂きました。昨年未母が亡くなり、父と二人での参加となりましたが、皆様の優しい笑顔に迎えられる、丁寧に作

### 支部だより



られた旅行のしおりにとても感激しました。

この旅行で色々な場所や物に触れ、普段何気なく接しているものに関わる方々のものづくりへの熱意、こ

だわり、歴史を感じ改めて感謝の気持ちが湧きました。又、事前の準備や天候不順にもかかわらず、臨機応変に予定を組み立ててくださった事務の方々はじめ、大きな笑顔のたえない組合員の皆様と一緒出来た縁を本当に有難く思いました。充実した良い思い出になりました。本当に有難うございます。

(小野明子)

### 佐世保北支部旅行

山口県へバスの旅

秋の夜長、日を追うごとに深みを増す霜月の十二日から十四日にかけて、総勢二十四名の旅行会へ行って来ました。今回は、下関から北上して角島、青海島へと廻る山口県へのバスの旅、手早く昼食を済ませた後には、みもすそ川公園から「赤間神宮」へ足を延ばしました。

この寺院大面白く、盤石橋なるものがあり、大小の自然石を積みみされたのみの造りで、眼鏡橋のようなアーチ橋とはまた違った「突杵式工法」というもの

です。一八六八年のドイツ「ゲルバー橋」よりも早く日本にこの技術があったと推測できるとして文化財的な価値が高いと評価を得ています。一通りの観光名所も通り、後は帰路の一途に。ここで佐世保北支部、支部長夫妻が景品を準備し、好例の車中ビンゴ大会の幕開け。空



クジなしの景品にはワインも入っていて中々の盛り上がりでした。ケガや病気もなく無事に佐世保の街に帰ってきました。

(小野)

1月

旗開き



建設長崎新春総決起旗開き(五日)  
各支部新春旗開き(十一日～二十一日)  
中小建設業協会新春研修会・交流会(十九日)  
本部主婦会新年の集い(二十五日)

4月

統一自治体選挙



春期お得意先回り行動月間  
県議会議員選挙告示日(一日)  
金子三智郎必勝集会(五日)  
統一地方選挙  
県議会議員選挙投票日(十日)  
市・町議会議員選挙投票日(二十四日)  
金子候補落選・組合推薦議員十二名当選

7月

建設長崎第六十六回定期大会



本部主婦会総会一一〇名集う(四日)  
長建国保理事会(八日)  
建設長崎第六十六回定期大会(十六日～十七日)  
組織の総結集を図り近未来に繋げよう!  
中小建設業協会第三十五回総会(二十二日)  
長建国保組合(二十五日)

10月

大運動会



組合員家族慰安大運動会(十六日)  
第五十二回全建総連大会(香川)(十九～二十一日)  
まちづくり総合住宅フェア  
(佐世保九日・島原十六日・長崎二十二日～二十三日)  
本部主婦会日帰り研修会(二十七日)

二・一五総決起集会

2月

ソフトボール大会

5月

所得税申告受付  
各支部賃金活動者会議  
開催(二日～十八日)  
長建国保理事会(八日)  
二・一五生活危機突破  
総決起集会(十五日)  
長建国保組合(二十四日)



賃金宣伝行動  
第八十二回メーデー(一日)  
労災保険年度更新受付(十二日)  
各支部対抗ソフトボール大会(十五日)  
大村支部優勝  
青年技能競技大会(二十二日)  
九地協青年部交流集会(二十九日～三十日)



3月

国保検認

6月

青年部大会



長建国保保険証検認受付  
所得税一括申告(二、一三一名分)  
消費税申告受付・一括申告(三二六名分)  
後期拡大行動スタート  
建設業許可変更届受付(個人)  
金子三智郎を囲む女たち(十三日)  
県議選必勝金子三智郎総決起集会(十七日)  
専門学校修了式(二十五日)



国保概算要求八ガキ要請  
九地協企業交渉(九日)  
専門学校総会(二十四日)  
青年部大会(二十八日)  
次代を担う青年部員十九名が集結

9月

住宅デー

12月

予算要求行動

原爆殉難者慰霊祭・職人の集い(八日)  
浦上川万灯流し(九日)  
各支部大会の開催(十九日～九月九日)  
全体一、〇二四名が参加  
諫早市・県振興局要請行動(二十六日)



秋期お得意先回り行動月間  
長崎・県央地区労働安全推進大会(八日)  
県知事・佐世保市要請行動(十一日)  
県北振興局要請行動(十五日)  
ものづくりフェスタ二〇一(二十日)  
全建総連生活危機突破・予算要求決起集会(二十二日)  
大村市長要請行動(二十二日)



各支部住宅デー実施  
包丁研ぎ・木工教室・住宅相談等  
前期拡大行動スタート  
長崎市要請行動(二十六日)  
全建総連青年技能競技大会(十九日～二十一日)



国保予算要求八ガキ要請  
各支部忘年会を開催  
全建総連予算要求中央行動(七日)  
大浦支部移転お祝い(十一日)  
福岡国税局交渉(十九日)  
仕事納め(二十九日)

# 2011年の主な出来事